

第1学年 数学科学習指導案

単元名：4章「変化と対応」（啓林館 1年）

本時の展開（6時間/17時間）

（1）本時の目標 座標の意味を理解することができる。

（2）評価基準 【知識・理解】 A：座標の意味を理解し、数直線のメモリを目的に応じて変更できることに気づくことができる。

B：座標の意味を理解し、点を座標平面に表すことができる。

（3）本時の展開

学習過程	時間(分)	学習活動	指導形態	○主な思考の流れ ●支援が必要な生徒 「 」 発問 ・指示	・指導上の留意点 (●支援が必要な生徒への手立て)	準備物
つかむ	5	1 野球観戦や飛行機のチケットを見て、本時の課題を把握する	一 斉	「チケットの数字やアルファベットは何を表しているか知っていますか」 ○地図帳もアルファベットと数字で表していた。 平面上で、点の位置を表す方法を理解しよう。	・身近な物を扱うことで、本時の学習に対する関心を高める。 ・数学では縦軸も横軸も数字で表すことを知らせる ・本時のめあてを全員で確認する場を設ける。	チケット
さぐる	25	2 教科書p114を読んで、新出語句について確認し、ノートにまとめる。 3 p115 例1で座標の読み取り方を確認し、問1、問2を教科書に書き込ませる	○ 一 斉 個	「横の数直線は何と言いましたか？」 「座標軸が交わる点を何と書いてありましたか？」 ○基本的な語句を理解する。 ○座標を読み取ったり、平面上に表したりすることができる ●点(5, 2)を(2, 5)と混同してしまう。 ●x軸上、y軸上の点を表せない。	・基本的な語句は、全体で確認しながら徹底する。 ・原点は数字の0ではなく、アルファベットのOであることを確認する。 ●x軸上、y軸上の点は、どちらか一方が0になることを、操作しながら教える。 【評価】: ①観察 ②ワークシート ＜B基準に達しない生徒への手立て＞ 座標は、横(x座標)→縦(y座標)の順番で読み取り、(x, y)で表すように指導し、座標平面上に点をとるときも同じ順番で表すことを徹底する。	座標平面のプリント 实物投影機
ふかめる	10	4 スライドで、座標の読み方を確認する。 ＜言語活動＞1目盛の数値の設定を変えることで、大きい数値や小さい数値も座標平面上に表すことができるよさに気づくことができる。	一 斉	「今から問題を見せるので、座標を答えてください」 ○スライドで出てくる問題に取り組む。 ●どうして間違えたのか 「(数値を見て)何か気づいたことはないだろうか」 ○1目盛の数値を2として表している。	・1問だけ、数直線の数字を省いた座標を出題する。その後、数直線の数値を出して、気づいたことを発表させる。 ・数直線の数値は必要に応じて変えることができる。	プロジェクタースライド
まとめる	10	5 本時の学習を振り返り、適用問題に取り組む。 まとめ ○座標は横(x座標)→縦(y座標)の順番で読み取り、(x, y)で表す。 ○1目盛がいくつかを読み取ることが必要。	一 斉	「座標を表すときに注意することを言ってください」	・学んだことをノートにまとめさせる。 ・適応問題は時間が許せばペアの生徒同士で出題させる。また、数学の友 p 49 の応用問題を活用する。	ワークシート